

北海道高等学校文化連盟

第21回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主催 北海道高等学校文化連盟
- 2 主管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟石狩支部
- 3 後援 北海道教育委員会
- 4 当番校 北海道札幌東商業高等学校
- 5 期日 令和6年11月 7日(木曜日) 12:30~16:40
11月 8日(金曜日) 9:30~12:30
※かでの2・7以外は9:00~
- 6 会場 1日目:かでの2・7
札幌市中央区北2条西7丁目 TEL 011-204-5100
2日目:かでの2・7
日本赤十字社北海道ブロック血液センター
札幌市西区二十四軒2条1丁目1-20 TEL 011-613-6121
札幌龍谷学園高等学校
札幌市中央区北4条西19丁目1-2 TEL 011-631-4386
- 7 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- 8 参加経費 1校 1,000円(当日受付で申し受けます。)
- 9 参加申込 参加申込様式に学校長職印を押印した原本は大会当日の受付でご提出ください。

大会参加申込は、添付ファイル「参加申込様式」(EXCEL ファイル)をダウンロードし必要事項を入力の上、電子メールに添付し、9月19日(木)までに北海道札幌東商業高等学校 第21回高文連ボランティア研究大会事務局宛に送付をお願いします。(参加申込書は、北海道札幌東商業高校HPからもダウンロードできます。)

「参加申込様式」送付先 E-Mail アドレス: **sattosho.bora@gmail.com**

- 10 宿泊申込 宿泊等は特に斡旋いたしません。各学校で対応してください。
- 11 昼食 昼食弁当は斡旋いたしません。食事を済ましてから来場してください。
- 12 大会事務局
第21回全道高等学校ボランティア研究大会事務局(担当 竹内)
〒004-0053 北海道札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6番10号
北海道札幌東商業高等学校内
TEL 011-891-2312

北海道高等学校文化連盟

第21回全道高等学校ボランティア研究大会開催要領

- 1 目的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修、情報交換、交流の場をつくる
- 2 テーマ 『ボランティア ～ともに手を取り合って築く社会を目指して～』
- 3 研修内容
 - (1) 全体講演 演題 『アイヌ民族の歴史と文化～助け合いの精神がつくる社会～』
講師 本田 優子 氏 (札幌大学教授)
 - (2) 分科会 ※詳細は別紙「分科会のご案内」参照
 - 第1分科会 「構成的グループエンカウンター ～自己理解と他者理解の魅力を体験～」
 - 第2分科会 「絵本を題材に、足元の感動をご一緒に」
 - 第3分科会 「わくわく科学工作教室」
 - 第4分科会 「国際協力って慈善事業なの？」
 - 第5分科会 「命を繋ぐボランティア、献血について」
 - 第6分科会 「小児がんについて考える ～いのちの大切さ 当たり前幸せが一番の幸せ～」
 - 第7分科会 「盲導犬を知ろう」
 - 第8分科会 「海洋ごみについて考えよう！」
 - 第9分科会 「誰ひとり取り残さない パラスポーツから学ぶ”多様性」
 - 第10分科会 「誰もが取り残されない社会のために～ダイバーシティ&インクルージョンについて考えよう」
 - 第11分科会 「地域課題を解決する防災活動/対話のためのグラフィックレコーディング」
 - 第12分科会 「自身の知らないところで、誰かが喜んでいる」～ボランティア活動のやりがいと自身の幸せ <ウェルビーイング>をカードゲームで体感！」
 - 第13分科会 「フードロスをおいしく減らせるサルベージ・パーティ」
 - 第14分科会 「始めてみよう！ボランティア活動」
 - 第15分科会 「多文化共生・国際交流を支えるボランティア」
- 4 日程
 - 第1日目 (11月 7日 木曜日) かでの2・7
 - 12:30～13:00 受付
 - 13:00～13:15 顧問会議
 - 13:20～13:40 開会式
 - 13:45～15:15 全体講演
 - 15:25～16:00 交流の場 (全道11支部の紹介)
 - 16:10～16:40 // (全道11支部についてのクイズ大会)
 - 第2日目 (11月 8日 金曜日) かでの2・7
日本赤十字社北海道ブロック血液センター
札幌龍谷学園高等学校
 - 9:30～11:00 分科会 (かでの2・7以外は9:00～10:30)
 - 11:20～12:00 全体会
 - 12:10～12:30 閉会式

北海道高等学校文化連盟 第21回北海道高等学校ボランティア研究大会
分科会のご案内

番号	分科会名	内 容	定員
①	第1分科会	<p>「構成的グループエンカウンター ～自己理解と他者理解の魅力を体験～」 講師： スクールカウンセラー 畠山 貴代志 氏</p> <p>コロナ禍により激減した対面コミュニケーション。SNS などの非対面コミュニケーションの急増で、今まで以上に、人間関係を築くためにストレスを感じている高校生たち。提示されたエクササイズをグループで取り組み、本音と本音の交流や感情交流を対面で行います。初対面でもできる親密な人間関係づくりを援助するための手法を体験します。</p> <p>持ち物：筆記用具、スマホ、動きやすい服装</p>	40程度
		<p>「絵本を題材に、足元の感動をご一緒に」 講師： 絵本セラピスト協会認定 絵本セラピスト 長木 けい 氏</p> <p>みなさんは幼い頃、絵本を読んだことがありますか？読んだことのある人もない人も、高校生になって読んでみると、意外な楽しさや深さに気付くことがあります。絵本の世界から、人を元気にすることを考えたり、「優しさ」や「ボランティア」について認識の幅を広げてみましょう</p> <p>持ち物：筆記用具、楽しむ心</p>	
③	第3分科会	<p>「わくわく科学工作教室」 講師： ゆめ科学ネット 代表 菅原 陽 氏 菅原 静香 氏 札幌みなみの杜高等支援学校 教諭 幅崎 雅仁 氏</p> <p>5種類の科学体験（①豆の標本②ペットボトル竜巻③回転浮沈子④紫外線検知ビーズ⑤クルクルレインボー）をとおして身近な科学とその仕組みについて、気づきと思考を刺激しよう。新たな発見から、ひらめきへ。発明者としての第一歩がここで実現！？</p> <p>※科学体験の内容については、変更になる場合があります。</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	30
		<p>「国際協力って慈善事業なの？」 講師： JICA 札幌 市民参加協力課 桐山 あす美 氏</p> <p>JICAは「信頼で世界をつなぐ」をキーワードに日本の経験や知見を世界の貧困削減や経済成長に活用できるように取り組んでいます。日本国内でも様々な問題がある中、なぜ外国に対して『国際協力』を行うのでしょうか。JICAの取り組み、日本と世界のつながりについて考える時間にしたいと思います。</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	
⑤	第5分科会	<p>「命を繋ぐボランティア、献血について」 講師： 北海道赤十字血液センター 事業推進一部献血推進課 佐々木 慎吾 氏</p> <p>「献血」とは、輸血を必要とする患者さんのために、健康な人が無償で血液を提供するボランティアです。輸血や血液についての話を交えながら、「献血」の必要性と重要性について、お話させていただきたいと思います。</p> <p>会場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター（地下鉄東西線 西二十四軒駅より徒歩7分） 住所：札幌市西区二十四軒2条1丁目1-20 電話：011-613-6121</p>	40

		9:00 現地集合 終了後はかでの2・7へ各自移動し全体会に合流	
		持ち物：筆記用具	

⑥	第6分科会	「小児がんについて考える ～いのちの大切さ 当たり前幸せが一番の幸せ～」 講師：特定非営利活動法人「勇者の会」 代表 阿部 美幸 氏	40 程度
		『勇者の会』は小児がんなどの重い病気を抱える子どもたちとその家族を支援する団体です。患者である子どもたちの学習を支えるため、プロジェクションマッピングを取り入れた体感型託児施設を備えたファミリーハウスを作ることを目指して活動しています。分科会では、患者の子どもたちが使うケア帽子を作ります。	
		持ち物：筆記用具、定規裁縫セット（針、ハサミ、まち針が入っているもの）	
⑦	第7分科会	「盲導犬を知ろう」 講師：北海道盲導犬協会	40 程度
		盲導犬がどのように育成され、視覚障がい者に寄り添いながらどんな一生を送るのでしょうか？盲導犬の一生やそのお仕事についてお話しします。また、盲導犬の訓練についてのデモンストレーションも実施します。	
		持ち物：筆記用具	
⑧	第8分科会	「海洋ごみについて考えよう！」 講師：土生 美咲 氏（北星学園大学大学院 修士課程1年） 村澤 太陽 氏（北星学園大学経済学部経済学科卒）	40 程度
		近年よく耳にするようになった海洋ごみ問題。一体どのような問題なのか、なぜ海にごみがあるのか、海洋ごみを解決する為に私達ができる事は何か、みんなで考えてみましょう。	
		持ち物：筆記用具	
⑨	第9分科会	「誰ひとり取り残さない パラスポーツから学ぶ”多様性”」 講師：北海道ハイテクノロジー専門学校 講師 斉藤 雄大 氏	30 程度
		車いすバスケットボールは、障がいのある人とない人が、共に play できるスポーツです。今回は、車椅子バスケットを体験し、このスポーツを楽しんでみたいと思います。	
		会場：札幌龍谷学園高等学校（地下鉄東西線 西18丁目駅から徒歩8分） 住所：札幌市中央区北4条西19丁目1-2 電話：011-631-4386	
		9:00 現地集合 終了後は、かでの2・7へ各自移動し全体会に合流 服装・持ち物：ジャージ等の動きやすい服装、上靴	
⑩	第10分科会	「誰もが取り残されない社会のために～ダイバーシティ&インクルージョンについて考えよう」 講師：男女共同参画センター 菅原 亜都子 氏	30 程度

		<p>ダイバーシティ (多様性) & インクルージョン (包摂) の重要性が世界で謳われていますが、私たちの社会では、本人の努力や力と関係なく、生まれ育った環境などから機会が与えられなかったり力を発揮できないことがあります。この社会の不平等や不合理を理解し、未来に向けて高校生の「私」ができることを考えます。</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	
⑪	第11分科会	<p>「地域課題を解決する防災活動/対話のためのグラフィックレコーディング」 講師：NPO法人防災したっけ 代表 水口 綾香 氏</p> <p>今自分が住んでいるすぐご近所の安心安全について見直し、今も自分の老後も安心できる地域づくりについて考えましょう。また、社会課題解決のための対話を支援するグラフィックレコーディングについてご紹介します。 ※グラフィックレコーディングとは・・・グラフィック (イラストなど) や文字で、対話の場やお話を記録していく方法です。その場の雰囲気や伝わりやすい、振り返りやすいなどの効果があります。</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	30 程度

⑫	第12分科会	<p>「自身の知らないところで、誰かが喜んでいる」～ボランティア活動のやりがいと自身の幸せ <ウェルビーイング>をカードゲームで体感！」 講師：ワークショップデザイン describe with 代表 高橋 優介 氏</p> <p>私は何のためにボランティア活動をし、そのやりがいはどこから来ているのか。カードゲーム「from Me」のプレイを通して、自身のアクションによる社会の変化や「やりがい (=幸せ)」を再認識し、今後のソーシャルアクションのきっかけにつなげます。 ※実施先：慶応義塾大<前野隆司ゼミ>/灘高/札幌西高/札幌龍谷学園高/ソフトバンク/アストラゼネカ/北海道庁/日本赤十字社/認定NPO法人むすびえ<こども食堂支援>ほか</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	30 程度
⑬	第13分科会	<p>「フードロスをおいしく減らせるサルベージ・パーティ」 講師：good food, good life 代表 和田 順子 氏</p> <p>日本では年間約 472 万トンのフードロスが出ています。フードロスはただ「食べ物がもったいない」だけでなく、その処理には税金だけでなく焼却処分には環境負荷がかかります。食べ物をつくるためのかけた手間ひまやコスト、自然資源、あらゆるものが「もったいない」のです。私たちにすぐできること、それは「家にある食材は食べきる」ことです。ただ、無理なくおいしく食べきるにはどうしたらいいでしょう？みんなで食材とアイデアを持ち寄り、新しい料理をつくってフードロスをおいしく減らしましょう！ 会場：札幌龍谷学園高等学校 (地下鉄東西線 西 18 丁目駅から徒歩 8 分) 住所：札幌市中央区北 4 条西 19 丁目 1-2 電話：011-631-4386 9:00 現地集合 終了後は、かでの 2・7～各自移動し全体会に合流</p> <p>持ち物：上靴・エプロン・三角巾・手ふきタオル・家で持て余した食材 (3品程度) ※ ※下記のは衛生上の理由で持ち寄りをご遠慮ください。 賞味期限・消費期限を過ぎているもの/個人が手作りする加工食品/開封済みの水分を含む加工品 (レトルト類・缶詰類・瓶詰類・チューブ品。乾燥してい</p>	20

		る乾物などはOK) / パッケージに表示されている保存方法に適さない方法で保存されているもの (冷蔵品を常温で保存していたもの等) / 調味料	
⑭	第14分科会	<p>「始めてみよう！ボランティア活動」 講師：札幌市社会福祉協議会 ボランティア振興課ボランティア活動係長 柳 厚志 氏 学生ボランティア団体wacco 代表 大高 龍磨 氏 (予定)</p> <p>ボランティア活動を始めるにあたり、どんな心構えが必要で、どんな手順でボランティア活動をしていけばいいのでしょうか？どんなことがボランティア活動になるのでしょうか？最初の分からないことは全部解消しましょう。そして、学生団体として活動してくださっている実践者から、団体を立ち上げた想いや理由、今後の展望についてお話していただきます。</p> <p>持ち物：筆記用具</p>	40
⑮	第15分科会	<p>「多文化共生・国際交流を支えるボランティア」 講師：札幌国際プラザ 多文化交流部 推進課長 大竹 麻衣子 氏</p> <p>札幌には外国人・外国にルーツのある方々をサポートする様々なボランティアがあります。行政だけでは手の届かないところで奮闘するボランティアの方々の活動を知り、自分たちでも出来ることを考えてみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロ通訳の費用とボランティア事情 ・異文化につながる様々なボランティア活動 ～札幌の未来をつくり、世界の平和につなげる ・外国語が出来なくても出来ることがある～やさしい日本語を知ろう ・札幌に住む・札幌を訪れる外国人にどんなサポートが必要？ボランティアで出来ることは何？ <p>持ち物：筆記用具</p>	40程度

※ 分科会の定員数は、変更になる場合があります